

# 高緑体サッカー ベスト16



▲後半、勝ち越しのゴールを決め、ベンチに走りこむ佐々木琉惟君（3年・三戸中学校出身）に駆け寄って喜び合う部員たち。

\*無観客試合のため、撮影はマネージャーの石藤凪紗さん（3年・根城中学校出身）が担当。

あと一步が届かなかった…。  
でも、それが今の自分たちの実力、そこには原因がある。  
夢は逃げない。  
逃げるのはいつも自分。  
～克己心～  
自分の欲望に負けず、自らを鼓舞しながら目標達成に挑め。

自分の欲望に負けず、自らを鼓舞しながら目標達成に挑め。

鳥)に駆はれて車ばぐる如星たま

身)に駆り寄つて喜び合ひ部員たら。

○6月4日（月）

5月末から始まつた県高総体サッカー、本校は三回戦へ進出し、弘前実業と対戦した。前半は0対0、後半は先制を許すもすぐに追いつき同点とした。その後、佐々木琉惟君（3年・三戸中学校出身）が勝ち越しのゴールを決め、勝利は目前かと思われた。しかし、残り10分で追いつかれ2対2の同点。延長戦でも決着がつかず、勝負はPK戦にもつれ込んだ。その激闘を制したのは弘前実業だった。ベスト8まであと一步と迫ったが本校はベスト16に終わつた。

得点	1年	徳田 琉星 (静岡市立蒲原中学校出身)	PK 向陵 4-5 弘実
アシスト	3年	佐々木琉惟 (三戸中学校出身)	PK 向陵 4-5 弘実
高総体を振り返って・次の大会への抱負	1年	守永 賢心 (茅ヶ崎市立梅田中学校出身)	PK 向陵 4-5 弘実
	1	1	0-0 弘実

部長 佐藤 大輝（三戸中学校出身）  
今年の高総体ではベスト8を目指に挑んだ一、二回戦は自分たちの力を発揮し、しっかりと勝ち切ることができました。三回戦目の弘前実業戦、レベルの高いチームとの対戦はとても楽しみでした。PK戦までいきましたが負けてしました。良い試合でしたが、決定力不足や自分たちのサッカーが上手くできなかつたところもあったので、これから改善しもつともっと強くなりたいと思います。無観客試合でしたが、たくさんの応援の言葉をいただき本当にありがとうございました。

ヘルで練習をして選手権へノート4を目指します。3年 坂本 航大（名川中学校出身）

ることなく試合ができました。二回戦の五所川原戦は、入りが悪いところがありました。途中から修正していくものの自分たちのサッカーをすることができました。三回戦の弘前実業戦は自分たちの最大限の力を出して挑みました。悔しい思いをしました。負けはしましたが自分たちの力を知ることができて良かったです。次の大会では目標を達成できるよう練習に励みたいと思います。

プレーの中に影響しているところは少なからずあると思います。自分自身のサッカー人生の中で一番悔しい試合だったので、この悔しさを忘れずに頑張らうと思います。一部リーグ昇格、選手権ベスト4を達成できるように頑張ります。コロナの影響で無観客試合でしたが、たくさんの応援ありがとうございました。

高総体、3年生として一戦一戦悔いが残らないよう試合をしました。一、二回戦と勝ち進み、弘前実業という強豪校とありました。この試合に勝てばチームの目標であるベスト8達成です。いつも以上の気合を入れて試合に臨みました。後半先制されても、FWの選手たちが点を取ってくれました。結果は負けましたが、強豪校と互角に戦うことができたことは自信になりました。次の大会では目標を達成できるよう頑張ります。

3年 石和 葉大（東中学校出身）  
高総体では、後半から出場するが多く、自分は試合の流れを変える役割でしたが、なかなか変えることができず反省しています。ですが、いくつか良いプレーもありアシストを記録できたことは良かったと思っています。目標としていたベスト

今年の高総体では、一、二回戦と順調に勝進み、自身も得点できたので良かったです。回戦は伝統校の弘前実業が相手でした。自分たちの思い通りのプレーはできずとも、得点をれたことは今でも驚いています。延長戦でも着がつかずPK戦に入りました。緊張で自分外してしまい、悔しい結果になりましたが、一題も明確になつたので改善に努めていきます。

3年 吉田 光汰（根城中学校出身）  
一回戦、二回戦と自分たちのサッカーができてしつかり勝利することができました。三回戦の弘前実業戦ではなかなか自分たちのサッカーができなくとも難しいゲームでした。試合は2対2の同点でPK戦になりました。残念ながら負けてしました。この悔しさを忘れずに次の目標である選手権ベスト4を達成できるように私生活から意識していきたいです。そして、目標を達成して向陵高校の歴史に刻めるよう一つ一つの練習

www.nature.com/scientificreports/

